



海の健康を考える

# 海洋漂流ごみシンポジウム

海洋漂流ごみは海洋環境悪化の負のスパイラルの一因となっており、世界レベルで解決しないといけない重大問題として認識されています。

プラネタリーヘルスの実現を目指す本学としては、様々な関係の方々と連携して解決策を見出していきたいと考えています。そこで、海洋ごみの現状とその解決に向けた取り組み等について議論する場として、本分野に関わる有識者や自治体の関係者をお招きし、下記シンポジウムを開催します。

海洋未来イノベーション機構 教授 山本郁夫

日時： 2023年 9月 25日 (月) 13:30-17:00

場所： 長崎大学 事務局3階 第二会議室

参加無料

## 1. 主催者挨拶

永安 武 (長崎大学理事 (研究・社会連携・戦略企画担当) ・  
研究開発推進機構 機構長・教授)

## 2. 内閣府参与 (海洋) ご挨拶

佐藤 徹 (内閣府総合海洋政策本部 参与・東京大学 教授)

## 3. プラスチック汚染対策に関する最新の動向 13:45-14:15

藤井 好太郎 (環境省 水・大気環境局海洋環境課  
海洋プラスチック汚染対策室長)

## 4. 包括的海洋ごみ対策プロジェクト「瀬戸内オーシャンズX」 ～エビデンスやデータ、ステークホルダー連携の重要性～ 14:15-14:45

塩入 同 (日本財団 海洋事業部 (香川事務所) シニア・オフィサー  
瀬戸内オーシャンズX 推進協議会事務局)

## 5. 自治体の海洋ごみの現状 14:45-15:15

対馬市役所、五島市役所、山口県庁

(休憩 15:15-15:30)

## 6. 対馬海峡内の浮遊大型海洋ごみ集積帯の推定 15:30-16:00

佐藤 徹・和気 正純 (東京大学)

## 7. 海のヘルス問題への取り組み 16:00-16:30

山本郁夫 (長崎大学副学長 (産学連携担当) ・研究開発推進機構副機構長・  
海洋未来イノベーション機構 教授)

## 8. 総合討論 16:30-17:00

モデレーター 山本郁夫 (同上)

※OICNとは Open Innovation for Carbon Neutral の略で、長崎オープンイノベーション拠点の推進分野のうち「海洋」・「カーボンニュートラル」分野を加速するため活動している新たな産学連携機能です。(OICN拠点:オープンイノベーションカーボンニュートラル研究教育拠点)

お問い合わせ

長崎大学海洋未来イノベーション機構 (山本研究室) 川淵  
電話 095-819-2514 Eメール [yu-kawabuchi@nagasaki-u.ac.jp](mailto:yu-kawabuchi@nagasaki-u.ac.jp)